

<2019年3月1日発信>

「マリンワールド海の中道」が 「第28回BELCA賞(ベストリフォーム部門)」を受賞!

- (株)海の中道海洋生態科学館(福岡市東区、代表取締役社長:岡村卓也)が運営する「マリンワールド海の中道」(以下、マリンワールド)が、「第28回BELCA賞(ベストリフォーム部門)」を受賞しました。
- 同賞は、公益社団法人ロングライフビル推進協会が、優れた改修を実施した既存の建築物から選ぶベストリフォーム部門と長期にわたって適切な維持保全を実施したもから選ぶロングライフ部門の2部門からなり、毎年合計10件以内の建築物が選ばれるものです。選ばれた建築物は、5月20日(月)に東京都中央区のロイヤルパークホテルで開催される表彰式にて表彰されます。
- マリンワールドは、「次世代の水族館を目指す」という改修方針のもと、2017年4月に全館リニューアルを行いました。今回の受賞は、①開放感のあるエントランスホールや「ししおどし」の原理を応用した荒波が見られる水槽などの空間演出、②子ども目線に配慮した展示や自然環境への理解を深める情報発信拠点の整備、③水槽熱源の効率化や排水抑制といった省エネルギー化の取り組みが評価されたものです。
- マリンワールドは本年4月に開館30周年を迎えます。今後も地元のみならず、観光客の方々にも足を運んでいただける、魅力ある施設づくりに努めてまいります。

■「第28回BELCA賞」の概要

【概要】 長期にわたって適切な維持保全を実施されたものや、優れた改修を実施した既存の建築物のうち、特に優秀なものに対して表彰される制度。ベストリフォーム部門とロングライフ部門の2部門があり、合わせて10件程度選出される。過去には、世界平和祈念堂(広島県、第1回)やホテルオークラ本館(東京都、第2回)、東京タワー(東京都、第18回)などが受賞。

■ベストリフォーム部門

社会的・物理的な状況の変化に対応して、今後の長期使用のビジョンを持って、蘇生させる、もしくは飛躍的な価値向上等をさせるリフォームがなされた、模範的な建築物を表彰

■ロングライフ部門

長期使用を考慮した設計のもとで建設されるとともに、長年にわたり適切に維持保全され、さらに、今後、相当の期間にわたって維持保全されることが計画されている、模範的な建築物を表彰

【受賞建築物】

ベストリフォーム部門	ロングライフ部門
マリンワールド海の中道(福岡県福岡市)	霞が関ビルディング(東京都千代田区)
MOA美術館(静岡県熱海市)	サントリーホール(東京都港区)
春日大社国宝殿(奈良県奈良市)	福岡銀行本店ビル(福岡県福岡市)
鬼北町庁舎本館(愛媛県北宇和郡)	御堂ビル(大阪府大阪市)
明治屋 京橋ビル(東京都中央区)	山梨文化会館(山梨県甲府市)

- 【マリンワールドの選定理由】
- ①開放感のあるエントランスホールや「ししおどし」の原理を応用した荒波が見られる水槽などの空間演出
 - ②子ども目線に配慮した展示や自然環境への理解を深める情報発信拠点の整備
 - ③水槽熱源の効率化や排水抑制といった省エネルギー化の取り組み
- 【その他】 詳細や過去の受賞建築物はホームページ([URL:http://www.belca.or.jp/28belcap.htm](http://www.belca.or.jp/28belcap.htm))をご覧ください。

(参考)「マリンワールド海の中道」の概要

- 【開館日】 1989年4月18日
- 【所在地】 福岡市東区大字西戸崎18番28号(国営海の中道海浜公園内)
- 【所有】 国土交通省 九州地方整備局
- 【竣工】 I期工事:平成元年、II期工事:平成7年
- 【運営】 (株)海の中道海洋生態科学館
- 【建物面積】 21,400㎡(地上4階、地下1階)
- 【駐車場】 408台(普通382台、大型18台、障がい者8台)

(参考) (株)海の中道海洋生態科学館の概要

- 【設立】 1988年3月17日
- 【代表者】 取締役社長 岡村卓也
- 【所在地】 福岡市東区大字西戸崎18番28号(国営海の中道海浜公園内)
- 【資本金】 150百万円
- 【従業員数】 76名
- 【株主】 西日本鉄道(株)、九州旅客鉄道(株)、九州電力(株)、福岡地所(株)、(株)環境開発

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(TEL:0570-00-1010)まで